

北信総合病院だより

100号の先にある未来へ
ずっと、もっと。

- 北信総合病院だよりのあゆみ (2ページ)
- 統括院長と広報からご挨拶 (6ページ)
- 新統括看護部長と新看護師から (9ページ)
- 新任医師紹介 (10ページ)
- さくらんぼ外来、プレコンセプションケア外来 (14ページ)
- 鎮静剤を使用した胃内視鏡検査のお知らせ (14ページ)
- 管理栄養士・調理師・調理補助 募集中 (16ページ)

100

地域の皆さまに支えられて、『北信総合病院だより』は
記念すべき100号を迎えました！

『北信総合病院だより』の歩みはこちらの二次元コードからご覧いただけます。



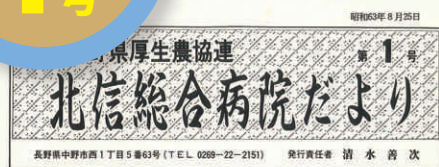
100

みなさまと歩んだ100号を振り返る

北信総合だよりのあゆみ

100号記念!

創刊
1号



START
16,000部発行
年1~2回の不定期発行

- 昭和63年8月25日(1988)
- 表紙は清水善次第6代院長
 - 当時は病床数720床、医師52名、全職員数604名
 - 前年より南病棟建設が始まる
 - 神経内科医師常勤化、胸部心臓血管外科新設
 - 1947年～1992年まで全国の農協で使用された旧農協マークを使用

創刊にあたり



▲4号ではドック棟、エネルギー棟の完成も伝えた

9号

平成7年3月25日(1995)

- 1月7日に発生した阪神淡路大震災へ救護班を派遣

平成7年8月10日(1995)

- 創立50周年記念
- 駐車場問題



10号

2号



平成元年3月25日(1989)

- 南病棟、エネルギー棟、ドック棟(平成2年3月竣工:総工費52億円)
- 新機器紹介

16号



平成9年10月31日(1997)

- 磯村孝二第7代院長急逝、北信地域住民とともに歩まれた7年間の功績は大きく職員が悲しみに暮れた。
- 立体駐車場が10月に完成、ほかの駐車場を含め、約600台の駐車が可能となった。29年前の駐車料金は現在も変わらない。

17号



平成10年3月10日(1998)

- 西村博行第8代院長就任
- 外来自動会計機運用開始
- ヘリカルCT稼働(H9.10.1～)

21号



平成11年10月10日(1999)

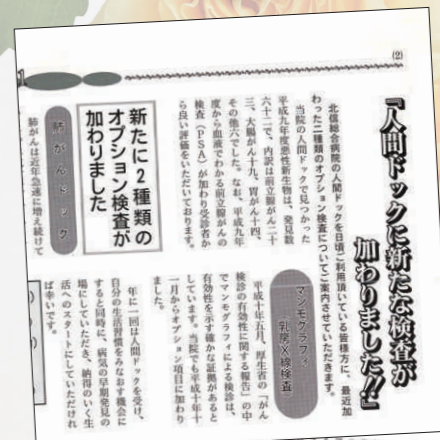
- 当院で本邦初のバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)アウトブレイクが発生。感染症予防について掲載
- 病院ホームページ開設



URL=http://www.ntti-net.ne.jp/hokushin

19号

B5版からA4版へ



平成11年1月31日(1999)

- (財)日本医療機能評価機構認定、県内3番目、北信地方の病院で初認定
- 人間ドックオプション検査、肺がん、ドック、乳がんマンモグラフィ追加

25号

30,000部発行
年3回の定期発行



シンボルマーク決定



北信総合病院

この形は頭文字hに由来し、愛と活気による癒しがあり、最高の医療を提供して、地域の皆様に信頼される、開かれた豊かな病院づくりを進めるという意思を「人」のイメージで表わしたものです。愛情を持って手を高く差伸べる人、あるいは支える人を表現し、活気ある動き、信頼感を太さで表現しました。色のグリーンは癒しの愛と保護、ブルーは知性と最高の医療、オレンジは活気と福祉を表わしています。

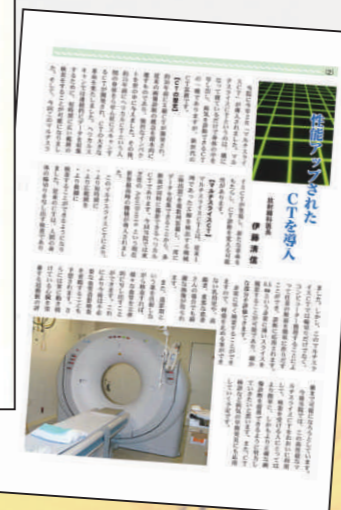
平成13年2月1日(2001)

現在のシンボルマークが決定、25年経過しているとは驚き!

平成15年5月10日(2003)

- マルチスライスCT運用開始
- オーダーシステム稼働(検査依頼がオンラインで)

32号



100

100号記念!

JA長野厚生連北信総合病院
統括院長 荒井裕国

北信総合病院の歩みと未来への継承 病院だより100号に寄せて

■創刊の精神と不思議な縁

病院だよりは、今回、100号を迎えます。この記念号の挨拶を書く機会を与えられた巡り合わせに、感謝と責任を感じております。幸い、過去のすべての号を閲覧する機会をえましたので、第1号から丁寧にページを繰って、歴史を辿ってみました。

病院だより第1号は、1988年8月に創刊されました。清水善次病院長は巻頭言で、「地域の人びとを同胞として感じとり、医にたずさわる者の根源的な本務は何かを問いながら、全職員一致協力して皆さまのご期待に沿うよう努力しなければならないと願っております。ぜひ地域の皆さまと緊密な連携をとっていただくなかで、病院からのご連絡あるいは皆さまからのご意見をいただくため、定期発行致すことになったものであります。」と語られています。2号からの組合員質問コーナーでは、患者さんからの質問にお答えしておりますが、残念ながら2回で終了してしまい、その後は広報誌として、病院から発信する役割が脈々と受け継がれております。創刊号では、折しも、私の専門職である心臓血管外科が同月に新設され、初代医長の天野純先生（後の信州大学教授で、2018年ご逝去）の記事が紹介されており、不思議な縁を感じます。

■紙面に刻まれた歩みと時代の記録

号を重ねるにつけて、新しい医療機器の導入や病棟が再構築されていく姿が紹介され、病院長による新年の挨拶では、その時代の医療制度や社会情勢の諸問題が語られています。昔からあるのは、医師の紹介欄。懐かしい顔が登場します。毎年掲載される病院祭の写真は、たいてい餅つきのシーンですが、職員が入れ替わり、杵を握っている顔が変わっていて、その変遷が面白い。今年の10大ニュースの企画も世相を反映していて興味深く、また復活させても良いのかと思います。

■悲しい別れと歴史の重み

一方で、海外出張中に急逝された磯村院長、外来診療中に亡くなられた杉本内科部長の訃報、と、現役医師の訃報には、胸が痛みました。いずれも、私が30代の頃に当院に在職中のことでもあります。永田名誉院長の北信病院小史は、2回連載されたところでおしまい。次の号では、悲しいかな、「永田先生のうたごえを偲んで」になっていました。永田先生には、黎明期の当院のご苦勞をもっと伺っておくべきであったと、歴史を知る先人の言葉を書き記す機会が永遠に失われたことを残念に思います。

■危機を乗り越え再構築の時代へ

病院だよりには、いつの時代も地域の基幹病院としての役割を果たすべく課題に向かって突き進んできた職員の思いが熱く語られております。楽な時代など決してありませんでした。特に、2000年代初頭の大学病院への医師引き上げや開業に伴う深刻な医師不足と建物の老朽化で、当院が存続の危機に瀕していた頃の有様は、小田切院長、洞院長によって切々と語られています。当時、病院経営が本当に厳しく、そこから這い上がって病院の大規模な建て替えに向かっていく時の職員一同の期待感と高揚感には胸を打たれます。病院再構築は、「地域創成の核となる病院をめざして」を標語として行われ、新病棟に託す多くの夢が語られています。病院正面玄関へと続く桜並木のことが幾度となく出てきますが、どうも桜の苗木は思うように成長していないのが気になります。シンボリックな桜並木ですから、これは何とかしないとイケないなと思いました。病院再構築後は医師数も充足し、紙面は新病棟の美しい写真で飾られます。その後、新型コロナ禍を経て、やがて現在へと繋がっていきます。

■未来へつなぐ「病院だより」の役割

こうして病院だよりを読み返すと、当病院に今、当たり前のように在る設備やシステムや、種々の施設基準の取得などは、先人たちの苦勞の積み重ねの上に築かれてきたのだとあらためて感じ、その苦勞に心から敬意を表したいと思えます。「想い」を言葉に残すことで、歴史が積み重ねられ、次の世代へと受け継がれていくことが分かります。病院だよりは、単なる広報誌を超えて、病院の歴史そのものを語る貴重な記録でもあることに気づかされました。これからも、北信総合病院の今の姿を地域の方々に紹介し、次の200号、300号に向けて、私たちの「想い」を文字として後世に残していきたいと思えます。



広報からひとこと!

広報委員長(統括院長補佐兼形成外科部長)

城下 晃

このたび北信総合病院だよりは創刊100号を迎えることができました。昨年、創立80周年を迎えた北信総合病院、これまで発行された99枚の表紙を病院の激動の歴史を想像しながらご覧いただきたいと思えます。このあいさつにあたり病院の黎明期・創始期、発展も苦難もその時代の視点で連綿と綴ってこられた皆さまには心より感謝申し上げます。そしてこれから新時代も地域に貢献し続ける病院を描き続けていきたいと思えます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報課(課長)

内田 守道

創刊号からの歴史をたどると、職員一人ひとりの「想い」と、地域とともに歩んできた時間が静かに胸に広がります。広報課は設立4年目。病院の想いを地域の皆さまへ丁寧に届けるという役割は、まだ始まったばかりです。「北信総合病院だより」は、積み重ねた日々の証であり、これからの未来を照らす小さな灯でもあると思えます。紙の温もりとデジタルの広がりを両立させながら、いつか読み返した誰かの心にそっと残るような広報を続けていきたいと思えます。

広報委員のみなさんより

老人保健施設もえぎ 看護師長

小坂 真理さん

3月に私が一緒に勤務した部署の課長が定年退職されました。

職種が違うこともありますが、課長の思いつき話を聞くのが本当に楽しみでした。

課長には、当時の写真なども見せていただきました。課長は写真だけでなく病院だよりも創刊号からすべてファイリングされていて、その厚さは20cmを超えるほどで、とても重かったです。でも、インクの匂い、色褪せた紙の色なども当時の思い出をより一層色濃くしてくれました。かさばりますが、これからは私も紙で保存しておこうと思えます。

西4階病棟部長

土屋 千恵さん

1号を読むと時代を感じました。現代は個人情報の問題もあり、どこまで記載して良いのか、以前より考えていかななくてはならないと思えました。

今後とも北信病院が地域の住民にとって

身近な存在であることを、アピールできるような北信病院だよりになるといいなと思えます

外来看護師(労働組合教宣部長)

寺澤 樹里さん

1号～病院だよりアーカイブを拝見しました。歴史があって、見た気がすると思いつき懐かしく感じました。最初は白黒だったのですね。最近の病院だよりは見やすい感じがしました。情報が多く、写真も皆さんが笑顔で写っているのが印象的でした。明るい雰囲気も伝わっていると思えます。

病院として取り組んでいること、お知らせなどを伝える手段として病院だよりは重要な手段だと思います。今後も多くの方に読んでいただきたいです。

診療放射線科

山田 茜さん

100号発行おめでとうございます。第1号が1988年発行で38年続いていることに驚きました。最初は白黒からはじまり、何度かリニューアルし、今では写真たくさ

んのカラフルな病院だよりになっていて、とても歴史を感じます。時代とともにリニューアルされ、これからも長く発行して欲しいと思えます。

臨床検査科

知久 めぐみさん

印象に残った号、第1号、懐かしいDr.たちの若かりし姿やモノクロのページや写真、そして第94号リニューアルで全体の紙面の印象が明るくなった、情報が増えた。令和になって二次元コードを載せて、病院のホームページやInstagramやYouTubeにアクセスできるようにしたことは、とても良いと思えます。



西原 友子さん



●印象に残った号

特に印象に残っているのは9号の表紙の写真です。私はこの写真がとても好きです。畳の上で自分の布団で寝ているお年寄りの患者さん。枕元にはラジオが置かれていて、訪問看護師が患者さんに向けて眼差しと、後ろ姿ではありますが患者さんの表情が想像できる光景がとても穏やかなようすを物語っているようでした。(風景や建物の写真も良いですが、こんな写真が病院だよりの表紙になるととてもいいなおもいました)

●当院の歩みで感じたこと

病院創立の写真がありました。野原に病院で、そこからこんなにも発展した病院ができ、また、本当に職員の働いている姿の写真が多く使われていて、当時の先輩方の仕事の様子が目に浮かぶようでした。苦労されたことも多々あったでしょう。そのなかでも、一枚一枚の写真の職員の表情がとても印象的でした。病院だよりの内容に関しては、地域の方々からの体験の感想、手術を受けての感想なども多く掲載されていて、「地域とともにある病院」だと改めて感じました。現在、老健もえぎで働いていることもあり、開設当時の記事やそこからの歩みが掲載されていてとても勉強になりました。

また、職場の先輩(ソーシャルワーカー)の記事も多く掲載されていて、医療福祉相談室の歴史を見ることができました。また、どのような活動をしてきたのか知ることができました。その年ごとに職員が選ぶ病院の大ニュースは面白かったです。

廣江 郁子さん

●印象に残った号

●当院の歩みで感じたこと

具体的に何号ということではありませんが、歴史と時代の流れを感じます。南病棟が新病棟だったこと、もえぎの開設など。再構築からも10年が経過、施設の変化や設備の充実など病院自体が大きく変わっていったことを改めて感じました。人間ドックが1年半待ちという時代があったことにも驚きました。病院だよりに関しても、字体やデザインが時代とともに変遷しています。

●職員としての視点で気付いたこと

先生方の以前の写真など興味深いです。そして、長く北信病院で活躍してくださっていることありがたいことだと思います。自身の部署の以前の記事も興味深く読ませていただきました。

小林 かおりさん

このたび病院だよりが100号を発行することとなり、こうして広報委員として携われたこと嬉しく思います。また病院だよりが創刊号から閲覧できるようになり、今までの病院の歩みを振り返ることで、懐かしさや、驚きなどその時代を楽しむことができました。今後は職場の皆さんと病院だよりを読み返しながらわいわい満喫したいと思います。

清水 浩一さん

広報誌を通じて、入職前の当院の歴史や歩みを知ることができ、大変興味深く、そして強く心に残りました。入職後のできごと振り返る中で、自身の歩みと重なり、改めて当院で働いてきた時間の重みを実感しています。地域へ向けた医療情報や院内活動の発信は大きな安心につながるものであり、こうした記録が今も受け継がれていることに深い意義と誇りを感じました

山本 晴良さん

一番印象に残ったのは北信総合病院より35号の信頼と満足される病院を目指し病院機能評価が更新された事です。

その内容は、マニュアル等が組織の中で周知されしっかりと機能しているか、また、患者さんに対して医師、看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士等の職種がチームとして一連の治療にかかわりをもっているか、そしてその結果が得られているかが問われました。それぞれがマニュアルを見直して職員周知し、職員が一丸となって努力して、地域住民から信頼され満足できる病院にしていくためにとても良い経験をしました。これからも自分の職場で受診者ファーストを心がけて業務を行っていきたいと思います。



山口 魁斗さん

一番印象的だったのは、96号です。そのなかでも病院祭の宣伝ページをみて病院祭のことを思い出しました。2025年4月に入職初めての病院祭でしたが想像以上の来場者で驚きました。その中でも保育園児や小学生などのお子さんも多く来場されていてさまざまなブースでとても楽しそうにされていました。広報の活動に参加でき良かったなと思いました。



新・統括看護部長に就任して



金井 歩美 統括看護部長

北信総合病院看護部は、地域の皆さまの暮らしと命を支える存在として、「ここなら安心して任せられる」と感じていただける看護をめざし、日々取り組んでいます。看護・介護はAIには代われないと言われます。それは、患者さんの表情やしぐさ、言葉にならない思いを感じ取り、その人に寄り添うケアを大切にしているからです。こうした“その人らしさ”を尊重する姿勢こそが、私たちが大切にしているケアリングの心です。

医療を取り巻く環境が変化するなかでも、地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう、看護の質向上や働きやすい職場づくり、多職種との連携を進めています。職員一人ひとりが力を発揮し、患者さんに向き合う時間を大切にできる組織づくりが、より良い医療につながると思っています。

これからも、地域の皆さまとともに歩み、日々の暮らしを支える病院であり続けます。

新・看護師のみなさん!



患者さんの笑顔のために頑張ります！
よろしくお願いします。



13名の医師と3名の 研修医をご紹介します。



医師



有賀 智輝 (あるが ともき)
出身 松本市
前任 町立辰野病院

循環器内科

病院の印象 今まではあまり雪が降らない地での勤務だったので、中野市はかなり雪深い場所で、温泉地も近くにあってという印象です。今まであまり勤務したところとはちょっと違う環境の勤務になりますのですが、非常に楽しみです。私も家族も経験のない市であるので、いろいろな魅力をこれから探っていければと思います。

医師を目指したきっかけ 親族に医師がおり、その背中を見て医師を自然と志すようになりました。

今後の抱負 皆さんの健康の少しでも一助になりませなればと思います。よろしくお願いします。

趣味 最近子どもと遊ぶこと。

ひとこと 循環器内科専門の有賀と申します。松本市生まれ、松本市育ちです。中野市は近隣にスキー場や温泉地が多いと伺っておりますので、これから地域の魅力を発見できるのが楽しみです。皆さまのお役に立てるよう頑張っております。

呼吸器内科

病院の印象 実は兄が初期研修でこの病院にお世話になっており、自分は学生で何回か遊びに来ております。その時に綺麗な病院で地域に密着した医療を展開しているという印象をもった少し馴染みのある病院です。北信総合病院に異動になり縁を感じうれしく感じております。

医師を目指したきっかけ はっきりしたものがあるわけではありませんが、父が循環器内科の医師で自分が子どもの頃、カテーテル治療などで24時間呼ばれることを目の当たりにしておりました。そこで父が人を助けていることに尊敬を感じておりました。さらに家族からも医師を勧められたので、医師を志しました。

今後の抱負 呼吸器内科医になって今年で2年目です。まだ至らないところがたくさんあります。呼吸器疾患の知識を身につけ、内科の全般的な知識を身につけ、地域医療に根ざした心の医療を展開できるよう頑張っていこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ひとこと はじめまして、長野県には何度か旅行に訪れたことがあり、そのたびに魅力を感じていました。このたび当院で勤務できることを光栄に思います。私の専門は呼吸器内科です。地域医療に貢献できればと考えております。



田中 宏樹 (たなか ひろき)
出身 千葉県、育ちは東京都
前任 東京科学大学病院 呼吸器内科

呼吸器内科

医師を目指したきっかけ 家族が病で苦しんでいたことを間近で見たり、人間はからだ資本だと思えました。今まで接してきた方々への恩返しとして地域への貢献ができればと思い、医師を志しました。

趣味 体を動かすことが趣味です。筋トレを少しやっています。

病院の印象 今まで長野市内で勤務をしてきて、長野市より北にあり北信地域の最後の砦、自己完結型でさまざまな疾患を診ている、すごい病院だと思っております。

ひとこと こんにちは。このたび初めて中野市へ赴任してまいりました。長野市内での生活が主だったため、より雪深い中野の冬が心細くもありますが、皆さまの温かなご指導の下、呼吸器内科医として誠心誠意努めます。よろしくお願いいたします。



牛島 祐哉 (うしじま ゆうや)
出身 長野市 (中野市は初めて来ました。)

精神科

医師を目指したきっかけ 学生時代に発達障害の子どもたちと関わる機会が多くあり、そこから子どもたちの医療に関心を持って、医師を志すきっかけになりました。そこで父が人を助けていることに尊敬を感じておりました。さらに家族からも医師を勧められたので、医師を志しました。

病院の印象 こちらに初めて来ましたが、自然豊かで静かで良い環境だという印象を持っております。

今後の抱負 1日でも早く地域の皆さまに貢献できるように頑張っております。よろしくお願いいたします。



小嶋 穂波 (こじま ほなみ)

小児科

医師を目指したきっかけ、小児科を選んだ理由 医師という職業は、皆さまのお役に立てるやりがいのある仕事だと思います。その中でも特に子どものためになれたらと思い、小児科を選択しました。

小児科医として今まで大変だったと感じたこと 医師としては9年目、小児科医となり7年目です。いろいろな経験しましたが、子どもは自分で自分の気持ちに入ることが難しいこともあります。その気持ちをくみ取りながら、ご家族にもご協力いただきながら診療をすすめることに難しさがあるかなと思います。

病院の印象 北信総合病院は初めてですが、山が近いという印象があります。

趣味 旅行、温泉、サウナ、あとはゴルフも時々やったりします。ここは本当にそういったもの全て楽しめますので楽しみにしております。

今後の抱負とひとこと この北信地域のお子さんと、そのご家族のために精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。趣味は旅行ですが、最近は温泉やサウナもよく行っています。おすすめがありましたら教えてください。よろしくお願いいたします。



竹内 詩緒 (たけうち しお)

小児科

ひとこと 今年で医師として7年目になります。小児科医としては4年目です。中野市は初めてなので、街の中もちょっとまだわからないことがあります。少しずつ慣れていければいいかなと思っております。

医師を目指したきっかけ、小児科を選んだ理由 父が小児科医で、小さい頃からの父の姿を見る中で、ずっと仕事でも子どもと関わりたいと思っていたこと、進路を決める時に父からの助言もあって医師というよりは小児科医を目指しこの道に進みました。

病院の印象 すごく大きくてきれいで、ちょっとびっくりしました。

今後の抱負 新しい病院になりましたので、まず少し慣れていかなければと思います。北信地域のお子さんのために、少しでも自分が力になれたらと思っております。よろしくお願いいたします。



山田 沙織 (やまだ さおり)

外科

医師を目指したきっかけ 母親が病気になることで医師を目指そうと思いました。

病院の印象 生まれも北信総合病院です。実家は本当に近くで自分の家の庭のように昔から馴染みのあるところなんです。

今後の抱負 地元にごうして帰ってきたので、今までいろいろお世話になったことへのお返しと恩返し診療ができたらと思っております。よろしくお願いいたします。

ひとこと はじめまして。生まれも育ちも中野市で、久しぶりに地元へ帰ってきました。外科医として地元へ恩返しできるように精進してまいります。医療のことだけでなく、地域のことも気軽に話してください。よろしくお願いいたします。



深井 晴成 (ふかい はるなり)
出身 中野市
前任 長野県立信州医療センター

脳神経外科

医師を目指したきっかけ 元々自分がサッカーをやっている、サッカーに関係ある職業でかっこいい職業と考えた時に、医師が一番かっこいいかなと思って目指しました。

脳神経外科医を目指した理由 なかなか難しいとき、大変なときはありますが、自分の手術で患者さんがすごく元気になるのを見ることができ、やりがいを感じています。

病院の印象 自分の地元も自然豊かなところですが、北信もすごい自然が多くて過ごしやすいなと思っております。病院もすごく過ごしやすいい感じです。

趣味 サッカーです。

ひとこと はじめまして。群馬県出身であり、初めての県外勤務になります。楽しみではありますが豪雪地帯とのことで今から緊張しています。私の専門は脳神経外科です。北信の地域医療に貢献できるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。



横山 響 (よこやま ひびき)

泌尿器科

医師を目指したきっかけ スポーツドクターになりたいという憧れがあって、そこから医学に興味を持ち医師を志しました。

泌尿器科を選んだ理由 泌尿器科に関しては非常に身近で排尿障害から感染症だったり、そこから手術、がん治療まで幅広くカバーするところで非常にバランスのとれた科という印象があり、泌尿器科に決めました。

趣味 ランニングが趣味です。

病院の印象 特に泌尿器科は総合病院では北信総合病院よりもさらに上、新潟の県境まで常勤の泌尿器科医がおらずここが県の一番最北端なので非常に範囲の広い地域の方を支えていく重要な病院だと思っています。

今後の抱負 地域の方に本当に安心してもらえる医療を届けられるよう、日々精進してまいります。

ひとこと 4月よりお世話になります。出身は長野市で3年ぶりに北信地域へ戻ってまいりました。北信の地域医療に貢献できるよう日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



杉山 侑 (すぎやま ゆう)

産婦人科

医師を目指したきっかけ 私の両親が薬剤師をして薬局を経営しており、医療とは結構近い関係にあり、自然と医師を目指しておりました。

産婦人科を目指した理由 研修医の時にすごくやりがいを感じたのと、緊急性も高く、少し怖い時もあったのですが、そうした時、上の先生がスムーズに対応されているのを見て、格好いいなと思って入りました。大変な仕事ですが頑張ります。

病院の印象 病院が綺麗で清潔感があり、働きやすそうな病院と思っております。

趣味 フルマラソンの長野、松本マラソンを走っています。大学時代ラグビーをやっており、筋トレが好きです。着任早々、中野市街地を走りまわりました。

今後の抱負 今まで私は研修が終わってから大学病院で2年間勤めておりました。北信総合病院のような市中病院に専攻医としての赴任は初めてですが、地域医療に少しでも貢献できるように、日々研鑽を積んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

ひとこと 長野市出身でよく高校時代に自転車中野市の友だちの家までアップルラインを北上して来たことを思い出します。私の専門は産婦人科です。北信の周産期医療に貢献できればと考えております。よろしくお願いいたします。



小林 輝成 (こばやし きなり)

形成外科

医師を目指したきっかけ 兄弟の病気があり、それで医療に興味をもちました。やはりやりがいがあるということで医師を志しました。

病院の印象 地域の中核病院としてやはり欠かせないところだと思います。地域に根ざした地域医療ということが大事だと思いますので、重点的に勉強できるところだと思います。

今後の抱負 これから経験を積んでいく身でもありますので、皆さんに地域に根ざした医療を届けられるように頑張っていきたいと思っています。

ひとこと このたび新任医師として勤務することとなりました形成外科の佐々木と申します。東北出身で長野での勤務は初めてですが、地域の皆さんに安心していただける医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



佐々木 麻悠子 (ささき まゆこ)

形成外科

病院の印象 すごい綺麗な病院だなと思いました。職員の方もすごく親切にしてくださり、とても温かい病院だと思います。

医師を目指したきっかけ 自分がテニスをやっており怪我が多かったため、その怪我を治せるような医師になりたいと思い医師を志しました。

今後の抱負 形成外科になって日が浅いので、少し未熟な部分もあるかと思っています。日々努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

ひとこと はじめまして。これまで首都圏で勤務しておりました。北信の自然や環境にはこれから慣れていくところですが、皆さまの温かい人柄に触れ、すぐに馴染めると確信しております。皆さまの健康維持に貢献できるよう尽力いたします。



田口 耕太郎 (たぐち こうたろう)

心臓血管外科

ひとこと はじめまして。昨年から引き続き勤務させていただきます。今年度からは心臓血管外科医として勤務させていただきます。今後も日々精進し、北信地域の皆さまに貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



田口 貴彬 (たぐち たかあき)



研修医



山本 知生 (やまもと ともき)

出身 愛媛大学

医師を目指したきっかけ 学生時代、切磋琢磨していた友人たちの影響を受けて目指しました。

病院の印象 所属している機関プログラムでの説明会等で来てくださった職員の雰囲気や、内容が非常に魅力的でしたので、選ばさせていただきました。来るのは初めてですが、とても地域も過ごしやすそうな環境で楽しんでいます。

今後の抱負 まだまだ未熟者ではありますが、多くの皆さまにご指導ご鞭撻いただきながら、地域医療に貢献できるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ひとこと はじめまして。たすきがけプログラムの一環として今年度勤務させていただきます。長野県に住むのは初めてですが、北信の地域医療に貢献できるよう精進いたします。ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



可兒 幸大 (かに こうだい)

出身 信州大学

医師を目指したきっかけ 自分の家族が疾患を患っており、その時にお世話になった先生がとても良い先生で、その医師に憧れて目指しました。

病院の印象 1年前に1ヶ月間実習にらせていただきました。環境も良くて充実した研修ができるかなと感じています。

今後の抱負 至らない点も多いと思いますが、1日でも早く患者さんや職員の皆さまのお力になれるように精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ひとこと 研修医としてお世話になります。信州の豊かな自然の中で、医師としてのスタートを切れることをうれしく思います。至らない点も多いですが、一日でも早く患者さんのお力になれるように日々精進します。



中槇 ひなの (なかまき ひなの)

出身 昭和医科大学

医師を目指したきっかけ 私が小学生の頃、家族が重い病気になり、その時の担当医が、その治療だけでなく患者家族にもすごく寄り添ってくださった姿を見て、私も誰かの力になれる人になりたいと思い、医師を志しました。

病院の印象 大学は東京で、こちらに来ることはありませんでした。何度か病院見学をさせていただいた際、手厚く教えていただいたことがとても印象深く、ここを志望させていただきました。

今後の抱負 医師としては未熟な立場でありスタートに立ったばかりです。多くのことを学びながら、少しでも早く患者さんの力になれる医師になりたいと思っています。

ひとこと はじめまして。大学は東京でしたが、出身は長野なのでこの病院で働くことを大変うれしく思っています。患者さんの力になれる医師を目指し、精一杯努めてまいります。

はじめました！

出生前診断に関する相談 さくらんぼ外来

当院では「さくらんぼ外来」として、産婦人科が出生前診断に関する相談を行っています。
妊婦さんとその家族が安心して妊娠・出産・子育てにのぞめるようお手伝いさせていただきます。



妊娠・出産
子育てに
安心を

出生前診断相談外来 『さくらんぼ外来』

詳しくはこちら ▶

『さくらんぼ外来』の思い

さくらんぼの実のように、妊婦さんとご家族のとなりに寄り添い、つながっていききたい。そんな思いで名付けました。
さくらんぼ外来は、この地域の妊婦さんとご家族にとって、一番身近な医療機関として、妊娠・出産・育児まで切れ目のないサポートを目指します。



出生前診断について

おなかの中の赤ちゃんに対する心配や不安を感じる妊婦さんもおられます。そういった場合には出生前検査をお考えになるかもしれません。
私たちは、まず妊婦さんやパートナーのお気持ちをうかがいつつ、必要な方にはNIPT等の検査を提案していきます。

ただし検査は不安と向き合うための手段の一つにすぎません。不安を感じられたら、まずは私たちにご相談ください。お二人と大切な赤ちゃんのために一緒に考えましょう。お待ちしております。

お問い合わせ先

JA長野厚生連 北信総合病院 地域連携課
Tel.0269-23-2160 (直通)
Fax.0269-22-2812 (直通)



さくらんぼ外来



はじめました！

「妊娠前からの健康」を支える プレコン(プレコンセプションケア)外来スタート

当院では「プレコンセプションケア外来」として、産婦人科がプレコンセプションケアに関する診療・相談を行っています。



これから妊娠をお考えの方に
はじめよう、プレコンセプションケア
プレコン外来

詳しくはこちら ▶

プレコンセプションケアってなに？
conception (コンセプション) = 受胎・懐妊のこと
プレコンセプションケアとは「今は妊娠を考えていなくても、毎日の生活や健康を整えていくこと」を言います。
対象：18才～40代前半の男女

妊娠は「自然に任せる」だけでなく、事前に整える時代です。食生活や生活習慣、体質を知ることが赤ちゃんの健康につながります。ご家族の理解と支えが大きな安心に。プレコンセプションケアは早いほど価値のある医療。未来の家族のための一歩を、北信総合病院がやさしく支えます。

こんな方におすすめ

- 1 若い世代のすべての方(10代後半から40才くらいまで)
- 2 将来、妊娠を考えている。
- 3 月経不順や月経困難がある方
- 4 持病がある人や妊娠に不安のある方
- 5 不健康な生活・食生活が心配な方
- 6 卵巣の機能・精子の状態は大丈夫か心配な方
- 7 パートナーと一緒に相談したいと考えている方



受診の流れ

- 1 WEB予約(女性プラン/カップルプランを選択)
 - 2 初診で検査
 - 3 約2週間後に結果説明
- ★2回の来院で、将来に向けた大切な情報が得られます！

主なプランと内容

カップルプラン※(25,000円) 将来の妊娠に向けて、二人でチェック	女性：超音波・血液検査・栄養・甲状腺・卵巣予備能(AMH) など 男性：精液検査、風疹抗体
女性プラン(20,000円) 女性の体をしっかりチェック	女性：超音波・血液検査・栄養・甲状腺・卵巣予備能(AMH) など
オプション検査	子宮頸がん検査など 必要に応じて、自分に合った検査を追加できます。

※カップルプランのみ、条件付きで長野県より補助制度があります。詳細は長野県の妊活支援サイト「妊活ながの」をご覧ください。

web予約とお問い合わせ先

WEB予約と詳しいご案内はこちら お問い合わせはこちら



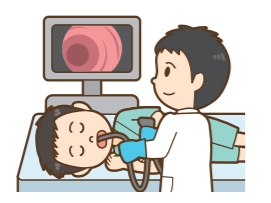
プレコンセプションケア 外来



プレコンセプションケア 外来

はじめました！

鎮静剤を使用した 胃内視鏡検査のお知らせ



「鎮静剤を使用した胃内視鏡検査(胃カメラ)」を一泊二日ドックのオプション検査として新たに開始いたしました。
鎮静剤を使用することで、検査中の不安や苦痛を軽減し、眠っているような状態で検査を受けていただくことが可能です。(鎮静剤の効果には、個人差があります。)
これまで胃カメラが苦手だった方にも、比較的楽に検査を受けていただけます。ぜひご利用ください。

料金

オプション料金：5,500円(税込み)

注意事項

- ・一泊二日ドックの方のみ、お申し込みいただけます。
- ・安全管理の観点から、年齢・既往歴・当日の体調等により鎮静剤を

使用できない場合があります。下記の「鎮静剤をご利用いただけない方」をご覧ください。
・かかりつけ医のある方は、「胃カメラで鎮静剤(プロポフォール)を使用する事は可能か」を主治医に確認してからご予約をお願いします。

鎮静剤をご利用いただけない方

- ・80歳以上の方(鎮静による唾液の誤嚥や転倒のリスクがあるため)
- ・卵、大豆アレルギーのある方(アナフィラキシーの報告があるため)
- ・妊娠中、授乳中の方(鎮静剤による胎児や母乳への影響、新生児の呼吸抑制の報告があるため)
- ・過去に脱抑制を起こしたことがある方(医師の判断で、鎮静剤を使用できないとされた方)

※脱抑制とは、脳の抑制機能が低下し、感情や行動が抑えられなくなる状態を指します。

当日の対応について

当日の内視鏡医の判断により、鎮静剤を使用できない場合は、鎮静なしでの内視鏡検査
または胃レントゲン検査、もしくは胃検診なしに変更させていただきます。あらかじめご了承ください。

お申し込み方法

鎮静剤を使用した胃内視鏡検査をご希望の方は、事前にお電話にてお申し込みください。「鎮静剤を使用した胃カメラ希望」とお伝えください。

ご予約先	北信総合病院 健康管理センター
電話	0570-06-2151(ナビダイヤル)
ご予約受付時間	平日(8:30～16:00) 第2・4土曜日(8:30～12:00)

※予約枠に限りがありますので、ご希望の方はお早めにご予約下さい。

募集中

「食」でいのちを支える——医療の最前線へ 管理栄養士・調理師・調理補助

北信総合病院では、管理栄養士・調理師・調理補助のメディカルスタッフを募集しています。食を通して医療を支え、患者さんの回復と健康に寄り添う仕事に、あなたの力を活かしてみませんか。見学も可能です。詳細はこちらをご覧ください。



管理栄養士

応募資格は管理栄養士免許取得者または取得見込みの方。正職員または臨時職員。

調理師

応募資格は調理師免許取得者または取得見込みの方。正職員または臨時職員。

調理師補助 (パート職員)

勤務は8:30～12:00または16:30～18:45のシフト制で、未経験の方も応募可能です。

休日

休日は4週8休に加え、年末年始や有給休暇、育児・介護休暇なども充実しています。



自動音声案内サービス「ナビダイヤル」

スタート!

2026年4月1日より、患者さんやご家族からの問い合わせ専用の自動音声案内サービス「ナビダイヤル」を運用開始しました。「ナビダイヤル」は、お電話をスムーズにお取り次ぎするためのサービスです。自動音声ガイダンスにて、ご用件ごとに関連部署がお伺いいたします。



☎ 0570-06-2151

使い方

ガイダンスに従い、番号を選択してください。
番号はガイダンスの途中で選択できます。

北信クリニックの最新情報は
こちらからご覧いただけます。



<https://www.hokushin-hosp.jp/about/facility/hokushin-clinic/>



創立80周年
特設サイト

私たちは地域住民のみなさんとともに信頼され満足できる保健・医療・福祉の実現に努めます。



外来担当医表こちらです!

病院ホームページ、
外来担当医表をご確認下さい。



Instagramこちらです!

病院公式Instagramを
ぜひフォローして下さい。

